

「0から1をつくる人」
旭川市PTA連合会
会長 安藤 英樹

世の中には「0から1をつくる人」「1を10にできる人」「10を100にできる人」の三種類がいると言われます。この三種類の人があると、協力できる関係でいるのが大切ですが、新型コロナウイルスで世の中がひっくり返り、順調にいった1→10や10→100がうまく行かなくなつて、0→1の重要性が高まっています。

私たち旭川市PTA連合会も、すべてが予定通りにはいかず、どんな形でならできるのかを考え続けてきました。毎年五月に開催している総会は書面会議となり、いつも一泊二日で開催している「わくわくサマー体験」は午後からの半日開催となりました。規模を縮小して対面での開催準備をしてきた研究大会も、直前に旭川市内でクラスターが発生し、いくつかの中学校が臨時休校になつたことを受け、急遽オンラインでの開催となりました。二週間足らずの期間で無数の決断をし、関係各所との調整・会場確保・動画撮影編集業者の選定・市内小中学校への変更通

知などをを行い、オンライン開催への転換を決めたときに想定していた以上の研究大会を実施できました。ホッとすると同時に役員の皆さんの底力に驚きました。0になりかけたものを総力の結集によって1に戻し、さらにそれを10に、そして100にまで大きくしたのです。これからも旭川市PTA連合会は、自分たちにできること・やるべきことを考え、どんな状況でも前へ進み続けます。

▼顧問よりひとこと▲

令和二年の流行語大賞は「鬼滅の刃」ではなく『三密』でした。令和二年度はまさにコロナ年度となつてしましました。旭P連の活動も予定していたものは全てが変更(縮小)または中止となりました。

今まで誰も経験したことがないこの状況、誰も正しい答えなど出せません。そんな中でも各学校の教職員の皆さんはずどもたちたちは一泊二日で開催している「わくわくサマー体験」は午後からの半日開催となりました。この一年コロナのニュースを聞かなければ多くのことを検討し決断し実行してくれました。この一年コロナのニュースを聞かなければありませんでしたが、教職員の方たちい日はありませんでしたが、教職員の方たちが本当に子どもたちを愛してくれていることを実感できた一年でもありました。

顧問 村井 炳敦

今後も様々な困難に立ち向かいながら、新しい方向性を持つた社会教育関係団体として、次代を担う地域の宝である子ども達の健全育成におおいに貢献していただける事を期待しております。

顧問 本間 公浩

▼事務局よりひとこと▲

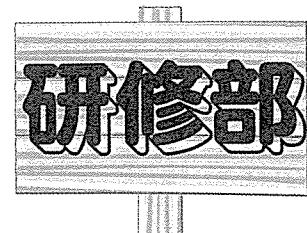
市P連事務所で一年目の勤務となりました。昨年度末からのコロナ禍で、市P連で予定しておりました事業が中止または内容を変更しての実施となりました。各ブロック・各単P事務局の皆様におかれましては、例年通りとは違う変則的な対応となり、ご足労をおかけしたものと思います。おかげさまで一年を終えることができ、皆様の温かなご協力とご支援に心より感謝申し上げます。本当に一年間、ありがとうございました。

事務局長 吉崎 隆

旭 P 連 より

旭川市PTA連合会

【事務局】
旭川市六条通五丁目
TEL 一三一九一六番
FAX 一三一九一七番
【発行責任者】 安藤 英樹
日章小学校三階



●担当副会長●
泉・本間・武井・石田
小林・若林・永原
●担当ブロック●
西部・中央・北部

「コロナ禍での研究大会を終えて」

部長 長登 仁泰

本年度、第六十回旭川市PTA研究大会と第三十五回母親（保護者）研修会との合同開催、かつ上川教育局との共催。そして、何よりも見通しの立たないコロナ禍での令和二年度のスタート。この状況下でも、諦めず前向きに、我々ができる最善の案を、皆様と共に何度も検討して参りました。

『新時代（いま）、わたしたちができること』をテーマに、まずは新型コロナウイルス感染予防対策の徹底の方策と、それを踏まえ部会も上川教育局担当で一部会、母親（保護者）研修会担当で一部会、市研究大会担当で二部会の計四部会と縮小し、このコロナ禍だからこそふさわしく、有意義な内容をと協議し決定致しました。詳細については、割愛致します。

しかし、十一月十五日（日）開催を目前とした十一月一日（月）付で、旭川市が市内での新型コロナウイルス感染のクラスターを発表し、それにより従来通りの対面式の開催を断念、すべてオンラインでの開催の変更を余儀なくされました。

この急な変更にも拘わらず、全体会講師の野井先生をはじめ、各部会の講師の方々、上川教育局の方々、旭川市PTA連合会の方々、多くの皆様のご尽力により、大成功に終えることができ、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

そして、この開催を終えて反省点も勿論ありますが、オンラインの可能性を感じた方も多くいらっしゃったのではないか？これまで、様々な条件や都合で依頼できなかつた講師をお招きしたり、当日足を運べず参加できなかつた方々にも配信でお届けできる。アイデア一つで様々な事もチャレンジできる。また、端末を利用し「GIGAスクール構想」と連携した取り組みも可能ではないだろうか。まさしく「新時代の到来」である。

最後になりますが、改めてご理解、ご協力を頂いております皆様への感謝と、このPTA活動が、未来を担い、切り拓いていく子どもたちと、そのご家族、各学校の教職員の皆様に、少しでも多くの笑顔と実りがもたらせるよう、益々の発展を祈念致します。

第60回旭川市PTA研究大会 全体会・各部会を参加者限定公開でYouTubeにて配信 全体会 「子どものからだと心が求める生活とは？～元気のためのオススメ生活～」

ぶつけ本番で司会進行を務めた長登研修部長

第1部会 家庭におけるネット利用も含めた望ましい生活習慣および学習習慣の確立

第3部会 コオーディネーショントレーニングを学んで体感しよう！

第4部会 コロナ不安と子どものこころ

第2部会 笑顔が子どもに与える影響

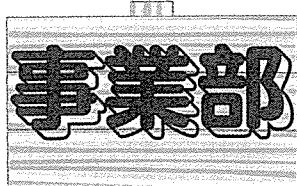
※母親研修会のページで紹介しています

事業部は子どもたちと直接関わる活動が中心ですが、コロナ禍により、できること、できないことを模索しながらの活動となりました。その中でも各役員、保護者の皆様から多くなるご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。来年度も創意工夫し活動していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

事業部は子どもたちのキャンドル作品で来場者に感動を与えていましたが、今年の冬まつりがオンラインでの開催となり、き花の杜の庭を借用して役員と事業部で「きぼう」のキャンドル文字とスノーキヤンドルを作成しました。作品は旭川冬まつり実行委員会の「みんなの冬二〇二一」に投稿し、各部のメッセージとともに発信することができました。

例年、旭川冬まつり会場で子どもたちのキャンドル作品で来場者に感動を与えていましたが、今年の冬まつりがオンラインでの開催となり、き花の杜の庭を借用して役員と事業部で「きぼう」のキャンドル文字とスノーキヤンドルを作成しました。作品は旭川冬まつり実行委員会の「みんなの冬二〇二一」に投稿し、各部のメッセージとともに発信することができます。

●担当副会長●
菅原・富樫・笹本
工藤・鈴木・守谷
●担当ブロック●
神 楽・ 神 居

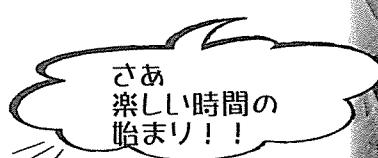
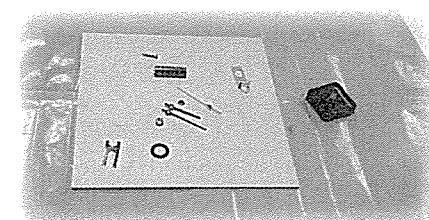


部長 古里 諭司
八月「第六回わくわくサマー体験 in 富沢」では、二十七名の子どもたちが富沢ふれあいの家で自然にふれあいました。初めて出会う友達と自然を散策しながら、金と銀のどんぐりを探し、蛇とも遭遇してちょつとした探検気分に。その後は、たき火＆焼き芋、くじ引きと次第に友達とも打ち解けながら時計作りをしました。

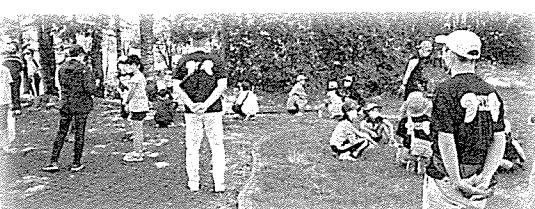
夫をこらして自分だけの時計を作成しました。木工作業で友達と協力しながら創意工夫を通じて自然や協力することの大切さを学んだと思います。

八月「第六回わくわくサマー体験 in 富沢」では、二十七名の子どもたちが富沢ふれあいの家で自然にふれあいました。初めて出会う友達と自然を散策しながら、金と銀のどんぐりを探し、蛇とも遭遇してちょつとした探検気分に。その後は、たき火＆焼き芋、くじ引きと次第に友達とも打ち解けながら時計作りをしました。

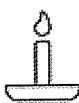
夫をこらして自分だけの時計を作成しました。木工作業で友達と協力しながら創意工夫を通じて自然や協力することの大切さを学んだと思います。



わくわくサマー体験
IN とみざわ



★ キャンドルナイト IN き花の杜



コロナ禍の中にあって
“きぼう”を未来に
キャンドルに祈りを



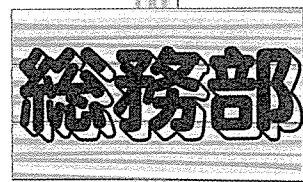
「事業部の活動を振り返って」

も念頭に置きながら準備を進めていきました。
教育懇談会の当日（十月十六日）は、例年よりも参加範囲等を制限し、会場には旭川市及び市教育委員会の担当者も合わせた百四名が入場し、鋭い質問や明確な答弁もあり、有意義で充実した内容の懇談会となりました。私にとつては、初めての経験で力不足ではありました。が、総務部のメンバーはじめP.T.A連合会役員の皆様にも御協力をいただき、無事故・大成功の教育懇談会を開催する事が出来ました。将来を担う子どもたちのために、一生懸命となり、汗をかいて頂きました関係者の皆様に改めて心より感謝申上げます。

教育委員会の企画運営に關係する経過
マ設定が最も重要な作業となりました。七月に行
なつた総務部の会議において、様々な意見を出し合
いながら四つのテーマが決定し、翌月には、各プロッ
クから出された質問と要望を集約するなど、多いと
きには月二回以上の会議を行ない、感染防止の対策

●担当 鎌堀 ●担当 新井 その後、事業の実施に向けて、総務部が一丸となつて取り組んだのが、「旭川市及び市教育委員会との教育懇談会」でした。

- 担当副会長・監事●
鎌本・村本、岩間
堀江・近藤・今津
- 担当ブロック●
新永・南部・東部



「子どもたちのために」

部長 中野 寛幸

令和二年度の総務部は、担当副会長四名・監事二名を含めて十七名の構成員で活動を開始しました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、各ブロックなどの各種活動にも様々な影響が生じましたが、総務部のメンバーからは、コロナ禍に於いても可能な限り担当する事業を行なうべきとの積極的な提案がありました。

●市・市教委との教育懇談会●



コロナウイルス感染防止に配慮して実施

教育懇談会のテーマ・担当ブロック

- 1 「子育て支援について」
 - ・ 経済的支援について 【西部ブロック】
 - ・ 子どもの安全確保、子どもの居場所確保、メディアの利用について 【北部ブロック】
 - 2 「子どもの心のケアについて」
 - ・ いじめ、不登校について 【中央ブロック】
 - ・ スクールカウンセラーについて 【新永ブロック】
 - 3 「スポーツ教育について」
 - ・ 体力づくり、障害のある子どもへのスポーツ参加促進について 【神楽ブロック】
 - ・ 中体連、部活動、リフト代について 【神居ブロック】
 - 4 「子どもの学びの保障について」
 - ・ 学習習慣、コロナウイルス感染防止対策について 【南部ブロック】
 - ・ GIGAスクール、学校行事や授業の実施について 【東部ブロック】

☆各ブロックの皆様のご協力に感謝!!





♥母親研修会♥

♥理事会♥

いつもなら母達全員や分科会の画像がいくつもあつて華やかなページとなつていてる所ですが、今年は異例の年。実施できないかも知れないので、状況を見ながら進めて行く、本來の形ではないスタートとなりました。そんな中、時期や準備の期間を考えると、単独での実施は無理と判断。十一月十五日に開催の第六十回旭川市PTA研究大会の一部会として母親（保護者）研修会を行う事になりました。更に直前になって市内でクラスターが発生し、オンラインでの実施が決定。学校単位で参加者の皆さんに見ていただき為、講演を撮影し、YouTube配信とDVD作成をする事となりました。

研修内容は「笑顔が子どもに与える影響」笑顔のお話と、少人数の役員のみで顔ヨガの体験もさせて頂きました。笑顔は家庭にとって大切、親の表情でお家の雰囲気も変わる、この様な状況下だからこそ、気持ちも口角も上げてキープスマイル！いつも笑顔を絶やさず、子どもを見守る素敵な母でありたいと思いました。

今年度はコロナ禍の中、講師のせとなつ様を始め、研究大会にご尽力いただいた関係者の皆様のご協力の下、今だからできる事を探りながら発信できた心に残る貴重な研修会でした。母親委員会では「大人が笑顔になつて子どもたちに最高の『笑顔』の贈り物をしましよう」と願っています。これからもたくさんの方に笑顔になつていただけるようなるべく新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、たくさんの笑顔で本来の研修会が開催される事を切に願います。来年度もよろしくお願いいたします。



♥顔ヨガ体験♥

♥講師の「せとなつか先生」♥

♥講演の様子♥

「コロナ禍の母親研修会」

母親委員長 笹本 奈海

旭川市PTA連合会の組織は、地域ごとに8つのブロックに分かれて活動しています。今年のブロック代表でご活動いただいた常任理事さんから、コロナ禍での状況を含め、それぞれのブロック活動をご紹介いただきました。

北部ブロック

活動報告

- 5月14日 第1回 北部地区連絡協議会議書面会議にて開催
- 6月12日 旭P連北部地区連絡協議会懇親会トヨーホテルにて開催を予定していたが、中止
- 10月28日 北部地区PTA教育講演会を予定していたが、中止
- 2月 第2回 北部地区連絡協議会書面会議にて開催

未広北小
未広小
春光小

近文第一小
近文第二小
北鎮小
陵雲小
啓北中
広陵中
東鷹栖中
六合中



ブロック長
上條優貴子

北部ブロックでは、新型コロナウイルス感染症の影響のため、予定していた活動を十分に行うことができませんでした。そのような中、書面会議を通して、活動計画についての承認や、旭川市や教育委員会への要望等について貴重なご意見をいただき、とりまとめることができました。

旭川市PTA研究大会・母親(保護者)研修会にも、北部地区各学校PTAより、たくさんの会員の皆様にお申込みいただき、心より感謝申し上げます。

今後も、保護者・学校・地域が連携したPTA活動を進めてまいりたいと考えております。

活動報告

- 6月19日 ブロック総会・懇親会
新型コロナウイルス感染症の影響で中止
- 7月 ブロック総会→書面での会議
- 11月 教育講演会
新型コロナウイルス感染症の影響で中止

神楽小
神楽岡小
西御料地小
緑が丘小
西神楽小
緑新小
神楽中
西神楽中
緑が丘中



ブロック長
古里 謙司

神楽ブロックは、例年、ブロック総会・懇親会や教育講演会の開催を中心に活動していました。しかし、今年度は、コロナウイルス感染症の影響で、懇親会と教育講演会が中止となってしまいました。ブロック総会は書面での会議とし、主にコロナ禍における今年度の活動の特徴的なものを交流し合いました。このような厳しい状況の中ですが、各PTAの工夫した活動の様子を知ることができ、お互いの活動の参考となりました。来年度も見通せない状況ですが、可能な限り情報交換を行い、次年度の計画を立てていきたいと思っています。

新永ブロック

新富小
正和小
永山西小
永山小
永山東小
永山南小
東五条小
永山中
永山南中
明星中



ブロック長
寺下美智雄



活動報告

- 7月15日 ブロック会議
- 11月14日 役員研修交流会(中止)
会場:トヨーホテル
【教育講演会】
講師:マナー・コーチングオフィス self-esteem
代表 坪崎 美佐緒 氏
- 2月 ブロック会議(書面会議)

新永ブロックの役員研修交流会は、子どもたちを思い、子どもたちのために何ができるかを中心に考え活動をしております。今年度の教育講演会では、self-esteem代表の坪崎美佐緒様を講師としてお迎えし、子どもの自信を育むコミュニケーションをテーマとした子育てコーチングによって、子どもの自信を育む接し方や言葉かけをわかりやすく、即実践に繋がるようお伝えいただく予定でおきました。しかし、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から残念ながら中止といたしました。

今後も子どもたちのよりよい環境づくりに繋がるようなPTA活動を目指し、積極的に活動を続けたいと思います。

神居ブロック

雨紛小
神居小
神居東小
忠和小
台場小
富沢小
神居東中
神居中
忠和中



ブロック長
山田 成生



活動報告

今年度は全事業が中止となり、役員会についても次のとおり書面にて対応しました。

- 6月26日 第1回役員会の資料配信
- 1月29日 第2回役員会の資料配信

神居ブロックでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての事業を中止しました。特に、PTA研修会については、開催時期を12月に延期し、航空自衛隊千歳基地より現役の戦闘機パイロットを講師にと、講演会の開催に向けて綿密に準備を進めてまいりました。しかし、本道において感染拡大の傾向が見られ、事務局とブロックの各校とで協議した結果、会員の皆様にご案内する直前に中止といたしました。11月末から12月にかけての本市における感染拡大状況を顧みると、案内前の中止判断は妥当であったと考えます。



★ 各ブロックの活動 ★



東部ブロック



活動報告

7月 20 日 東部ブロック
 10月 30 日 東部ブロック研修会
 「親子のためのマネジメント入門」
 講師：合同会社ピエマネージ
 代表社員 濑野 乗昭 氏
 参加者 38 名
 新型コロナ感染症対応として各校
 の参加人数を絞って実施

コロナ禍で多くのことが自粛や中止を余儀なくされている中、感染症対策をしつつ、ブロック会議と教育講演会を実施することができました。特に教育講演会では、各校 5 名以下の参加とし、マスク、手指の消毒と検温、2 間隔の健康観察もお願いしました。講演「親子のためのマネジメント入門」では、講師である瀬野様の穏やかな口調でありますから言葉の一つ一つを大切に語られる様子が大変印象的で、参加者からはもっと詳しく教えてほしいという要望も出ていました。

念入りに消毒作業をしました→

愛宕小
愛宕東小
旭川小
旭川第一小
旭川第五小
桜岡中
愛宕中
旭川中



ブロック長
近藤 英恵



南部ブロック



令和元年度 東明中学校 PTA活動から

活動報告

7月 29 日 南部ブロック 第 1 回ブロック会議
 10月 教育講演会
 新型コロナウイルス感染拡大に
 配慮し中止
 2月 南部ブロック 第 2 回ブロック会議

南部ブロックでは、10 月に教育講演会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、残念ながら中止とさせていただきました。今年度は、ほとんどの学校で例年通りの PTA 活動を行うことができず、前例のない 1 年となりました。次年度は、知恵と工夫を働かせ、新しい生活様式に添った PTA 活動を進めていきたいと思います。



ブロック長
中野 寛幸

中央ブロック

活動報告

7月 14 日 第 1 回中央ブロック会議
 (於日章小学校)
 8月 28 日 第 2 回中央ブロック会議
 (於書面)
 2月 11 日 第 3 回中央ブロック会議
 (於中央ブロックグループ LINE)
 3月中(調整中) 中央ブロック教育研修会
 ※オンライン配信予定
 不登校を中心とし、コロナの影響も加えた内容の予定
 講師 市立旭川病院
 精神科診療部長
 武井 明 医師(思春期外来)
 3月予定 第 4 回中央ブロック会議
 (於書面)

青雲小
新町小
日章小
知新小
朝日小
東町小
豊岡小
中央中
光陽中



ブロック長
長登 仁泰

本年度、コロナ禍の影響でこのまま教育研修会をせずに終わりそうになりましたが、市立旭川病院精神科診療部長の武井先生をはじめ、中央ブロックの各学校、事務局、皆様のご理解、ご尽力を頂き、何とか開催できることとなりました。この場をお借りして感謝申し上げます。この研修会が、少しでも多くの悩んだり、苦しんでいる方の心に届き、やがて笑顔となるよう切に願います。

西部ブロック

活動報告

7月 15 日 「市・市教委との教育懇談会」
 ~8月 6 日 に開かれる資料作成依頼・集約
 7月 31 日 書面によるブロック会議

高台小
大町小
向陵小
大有小
北光小
近文小
附属旭川小
附属旭川中
春光台中
北星中
北門中
嵐山小中
江丹別小中
旭川盲学校
旭川聾学校
旭川養護学校



ブロック長
高橋 健二

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、残念ながら思うように活動することができませんでした。

西部ブロック PTA 教育講演会につきまして、今年度担当事務局の PTA 役員会で開催について検討を重ねて参りました。新型コロナウイルスへの感染を懸念する会員もいる中で、この状況においてもなお開催したいと思われる研修テーマの決定や講師の選定が難しく、今年度は中止にするということにいたしました。

また、「市・市教委との教育懇談会」に関わる意見・要望に関しては、各単 P から真摯な意見が多数寄せられ、家庭や学校の環境や子ども達の教育への関心の高さを感じました。

今後に向けて、各校オンライン化が進む中、講演会や会議等にも積極的に活用し、リモート参加型講演会の検討や、リモート技術向上に向けた講習会の開催等も検討しております。

次年度も研修する場を設け、ブロック内での連携を図りながら活動を進めていくことを願っております。

● 北海道PTA連合会参加報告

今年度は、理事として安藤会長、代議員として泉副会長・笠本副会長・村本副会長、吉崎事務局長が北海道PTA連合会に出向し、吉崎活動しております。コロナ禍で予定通りとはなりませんでしたが、活動内容につきましては、北海道PTA連合会のホームページをご覧ください。

尚、次年度は、十月九日(土)～十日(日)に第六十八回日本PTA北海道ブロック研究大会南空知・岩見沢大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。ともに楽しく学びましょう。

● 第二ブロック連絡会

十月二十四日(土)に留萌市東光小学校にて第二ブロック連絡会および研修会が行われました。連絡会では道P連の各委員会と第二ブロック各地区の活動報告がありました。研修会では株式会社田中青果統括本部長の中美智子様から「食からの発信～教育から考える子育てについて～」と題したご講演をしていただきました。美味しく体にいいお漬物のお話や、娘さんの不登校を克服されたお話を簡単にお聞きました。フルーツカットの実演を見せていただき、盛り沢山の内容でした。最後にはお土産に美味しいお漬物までいただきました。充実した時間になりました。

● 第三十八回全道PTA広報紙 コンクール受賞校

今年度のコンクール受賞校をご紹介いたします。

○ 北海道PTA連合会表彰

北海道新聞社賞 中央中「中央」

大賞 北海道新聞社賞

優秀賞

日本教育新聞社賞

光陽中「基北川」

北海道小学校長会賞

朝日小「たかね」

審査員特別賞

神居小・東五条小

忠和中・東光中

北門中・六合中

○ 旭川市PTA連合会表彰

最優秀賞 光陽中

優秀賞 中央中

佳作 朝日小・愛宕東小・神居小

東五条小・忠和中・東光中

北門中・六合中・附属旭川中



● 令和3年度に予定されている市P連の主な行事日程

- ・ 五月八日(土) 定期総会
- ・ 七月十六日(金) ブロック交流会
- ・ 九月五日(日) 母親(保護者)研修会
- ・ 十月二十一日(金) 教育懇談会
- ・ 十一月十四日(日) PTA研究大会

● 編集後記

皆様からご協力をいただき、第一一一号「旭P連だより」を発行することができました。旭川市PTA連合会と市内八ブロックの活動を紹介させていただきました。紙面づくりを振り返りましても苦闘の一年だったように思います。

年一度当初から、コロナウイルス感染拡大の中、市P連各ブロック・単Pの皆様で、「何ができるか」「どのように実施するか」等々、模索の連続ではなかつたかと推察されます。こうした中、今年度の活動の足跡を残すことでも、厳しい状況下の記録として重要な思いを行させていただきました。

来年度もなかなか見通せない中ではあります、PTA会員同士が関わり合い、支え合いながら、子どもたちとともに成長していくたいものと考えます。

最後までお読みいただきありがとうございました。次号も温かく見守っていただきましたら嬉しいです。

総務部一同

